

アンケートから見える課題

～いなべ市消防団アンケート結果から、現在の消防団の課題を以下に整理します～

団員確保に困窮する消防団

- ① 団員条件等が適正であるか
- 「市内勤務者へアプローチを」 -
- ② 一部企業の消防団への協力体制が不十分
- 「慣習化で団員確保」「理解への働きかけ」 -
- ③ 自治会との連携強化の必要性
- 「自治会からの団員選出」「自治会との接点を多く」 -

変化する消防団の役割

- 「消火だけでなく、防火・防災や大規模災害への対応も」 -

団員のモチベーション低下

- ① 式典、大会や年間行事への負担意識の強さ
- 「意義ある活動とするために」 -
- ② 飲酒を伴う交流への考え方の変化
- 「団員交流を時代に応じて上手く活用」 -
- ③ 消防団のイメージアップの必要性
- 「規律の向上でイメージアップ」 -
- ④ 報酬等の個人口座支払いについての是非
- 「可否は半々」
「出欠管理、団員意識の改革、手当の増額が実現のカギ」 -

課題に向けて令和2年度から次の9項目に取り組みます

課題解決のための9つの取組

団員条件の見直し

「いなべ市内勤務者」と「18歳以上」も入団可能に。

一部企業への訪問や文書での呼びかけ

自主的に企業から団員を選出してもらう。
サラリーマン団員が活動しやすい体制へ。

自治会へのチラシ配布や呼びかけ

自治会からの団員選出を積極化、さらに地域と連携した消防団へ。

女性消防団の設立 ※別紙参照

欠員の補填や定数引き下げで団員負担の軽減へ。
消火活動のほか、広報活動による防火・防災面での強化。
活動の場を広げて周囲からのイメージアップに。

年末夜警を29日のみに短縮 出初式の時間短縮の検討

慣例行事を尊重しつつ、団員の負担軽減のために。

団員の規律や交流の在り方をマニュアルに記載

団員の規律向上による周囲からのイメージアップ。
個人の価値観や家庭環境の尊重で、在団しやすい組織に。

消防団マニュアルや応援の店一覧のオンライン公開

マニュアルの利用頻度を増やし、規律の高まりを期待。
応援の店活用の利便性向上で福利厚生を高める。

報酬等の支払い方法検討のための調査

訓練等の参加者数を把握するため、分団に出席表を配布し提出してもらう。

操法大会への取り組み方の検討

4地区から2名ずつ、合計8名の女性団員の選出を予定しております。

※各地区で2名を超えた入団希望者がいる場合でも問題ありません。(その際は事務局までご連絡ください。)

団員の皆様には、興味関心のある方にお声かけいただくなど、女性団員募集へのご協力をお願いいたします。

■いなべ市女性消防団について

定員

8名 ※1名をリーダー(班長)に任命

入団条件

- ①20歳以上
- ②市内に居住、又は勤務している

報酬や福利厚生

- ①年間40,000円を支給
- ②活動回数に応じて、1回2,500円
- ③消防団応援の店や施設利用券の配布
- ④年数に応じた退職金支給

活動内容

男性団員のような火災・捜索出動は行いません。
以下の広報・啓発活動に特化して取り組みます。

- ・自治会や学校への防火・防災啓発活動
- ・普通救命講習の講師
- ・市や県と協力した消防団員の募集活動

※この他、団員自身が創意工夫を凝らしたイベントの提案なども歓迎します。

組織の位置づけ

いなべ市消防団のうち、本団付けの『女性消防団』として結成します。
定員を条例や規則で定めず、全体定数327名の中で配置します。